

ずばり!!



クラシック 名曲コンサート

Program

モンティ
チャールダッシュ

ピアソラ
リベルタンゴ

團伊玖磨
花の街

ワーク
大きな古時計

ビゼー
オペラ「カルメン」より
“ハバネラ”

エルガー
愛の挨拶

プーランク
オーボエソナタ FP185より
第一楽章「悲歌」

サティ
ジュ・トウ・ヴー
(あなたが欲しい) etc...

※曲目は変更となる場合がございます。



《司会》
作曲家・ピアニスト
加羽沢 美濃

作曲家・ピアニストの加羽沢美濃が、誰もが聴いたことのある“あの曲”から出演者が選んだ“こんな曲”まで!楽しいトークと共に名曲の数々を皆様にご案内します。記念すべき5回目となる今回は、“アニバーサリー”にちなんだ楽曲をお届けします。実力派アーティスト達による“ずばクラ”だけのスペシャルなコラボレーションもお楽しみに!



オーボエ
古部 賢一



メゾソプラノ
相可 佐代子



カウンターテナー
藤木 大地



ヴァイオリン
廣津留 すみれ

ティアラ こうとう 大ホール

チケット料金 **発売開始 12/10(日)10:00~**

全席指定 ※6歳以上対象

一般 S席2,800円 A席1,800円

ティアラ友の会 S席2,500円 A席1,500円

学生 1,000円

江東区民 一般料金より各席200円引き

チケット申し込み

チケット申し込み二次元コード▶

ティアラこうとうチケットサービス **03-5624-3333**

9:00~21:00毎月第1・3月曜日休館(祝日除く)

※12月29日(金)~1月3日(水)年末年始休館
(インターネットでは随時申し込み可)

<https://www.kcf.or.jp/tiara/>

その他 江東区内各文化センター、総合区民センター、深川江戸資料館にて取り扱い



2024

2/18日

15:00開演(14:30開場)

主催

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

ティアラ こうとう

制作協力

株式会社シンバ



Profile



オーボエ 古部 賢一

Ken-ichi Furube

東京藝術大学在学中の1991年、小澤征爾音楽監督率いる新日本フィルハーモニー交響楽団に首席オーボエ奏者として就任以降、2020年3月まで30年間にわたり大きな功績を残した。現在、同団特任首席奏者。HPAC特別奏者。

2000年、第10回出光音楽賞をオーボエ奏者として初めて受賞。以後、国内外の多くのオーケストラや世界的奏者、指揮者と共演を重ねる。これまでに、イタリア合奏団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、ザルツブルク室内管、東京フィル、N響室内合奏団などのオーケストラのソリストとして、また、ハンブルク北ドイツ放送響(現・NDRエルブフィル)、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などに客演首席奏者として招かれるほか、ラ・フォル・ジュルネ TOYKO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭、木曾音楽祭などにもソリスト、室内楽奏者として定期的に出演。ピアノの塩谷哲、ギターの渡辺香津美、鈴木大介、箏の野坂惠璃とのコラボレーションなど、ジャンルを超えた活動も展開している。東京音楽大学教授、札幌大谷大学客員教授、相愛大学特別講師のほか、ソニー国際オーボエコンクール東京、日本音楽コンクール等の審査員を務めるなど、後進の指導にもあたっている。

©土居政則

指揮者と共演を重ねる。これまでに、イタリア合奏団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、ザルツブルク室内管、東京フィル、N響室内合奏団などのオーケストラのソリストとして、また、ハンブルク北ドイツ放送響(現・NDRエルブフィル)、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などに客演首席奏者として招かれるほか、ラ・フォル・ジュルネ TOYKO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭、木曾音楽祭などにもソリスト、室内楽奏者として定期的に出演。ピアノの塩谷哲、ギターの渡辺香津美、鈴木大介、箏の野坂惠璃とのコラボレーションなど、ジャンルを超えた活動も展開している。東京音楽大学教授、札幌大谷大学客員教授、相愛大学特別講師のほか、ソニー国際オーボエコンクール東京、日本音楽コンクール等の審査員を務めるなど、後進の指導にもあたっている。



メゾソプラノ 相可 佐代子

Sayoko Oka

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年笹川日仏財団奨学金によりパリ市立シヤトレ劇場研修生として渡仏。同劇場においてお昼の歌曲リサイタル、パリ・アテネ劇場やミッテルベルクハイム音楽祭にも出演。2003年パリエコールノルマル音楽院よりベスティギ、ルーセル奨学金を受け研鑽、同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も『カルメン』(タイトルロール)、『ナクソ島のアリアドネ』(作曲家)、『ヴェルテル』(シャルロット)、『こうもり』(オルロフスキー)、『ホフマン物語』(ニコラウス、倭歌劇『GENJI』(紫式部)、『御柱』(オカン)など多数のオペラに出演。ベートーヴェン『交響曲第九番』『ミサ・ソレムニス』、マーラー『交響曲第三番』、モーツァルト『レクイエム』、『ヴェルディレクイエム』他、多数のソリストも務める。

日本各地での演奏活動をはじめ、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学各講師として後進の指導にもあたる。NHK-FM『名曲リサイタル』出演。2012年津市文化奨励賞受賞。ソロリサイタルにおいて2014年名古屋音楽ペンクラブ賞、2010年、2018年名古屋市民芸術祭受賞。

2010年、2018年名古屋市民芸術祭受賞。

NHK-FM『名曲リサイタル』出演。2012年津市文化奨励賞受賞。

ソロリサイタルにおいて2014年名古屋音楽ペンクラブ賞、

2010年、2018年名古屋市民芸術祭受賞。



カウンターテナー 藤木 大地

Daichi Fujiki

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルド役に鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ポロニヤ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役にヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

©hiromasa

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルド役に鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ポロニヤ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役にヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルド役に鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ポロニヤ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役にヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルド役に鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ポロニヤ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役にヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023。

Official Website: www.daichifujiki.com



ヴァイオリン 廣津留 すみれ

Sumire Hirotsuru

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中に全米ツアーを行い、NY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)・ジュリアード音楽院(修士)卒業後、NYで起業。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を果たしたのを皮切りに、米国にて演奏活動を拡大。自身の四重奏団を率いてリンカーンセンターや MoMA近代美術館にて演奏するほか、ワシントン DCのケネディセンターにて野平一郎氏と共演。The Knightsのメンバーとして録音したギル・シャハムとの最新アルバムがグラミー賞2022にノミネート。『ファイナルファンタジー』など名作ゲームの録音も数々担当。古楽器ではゲヴァントハウスや東京オペラシティにてバッハ・コレギウム・ジャパンと共演。近年は東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団との共演や、『徹子の部屋』(テレビ朝日)『歌える! J-POP』(NHK-BS)等での演奏も話題に。これまでに、辰巳明子、川崎雅夫の各氏に師事、室内楽をロナルド・コープス、ジョセフ・リンの各氏に師事。現在、成蹊大学客員講師、国際教養大学特任准教授。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』など多数。

©Ryuto Kurokawa

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中に全米ツアーを行い、NY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)・ジュリアード音楽院(修士)卒業後、NYで起業。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を果たしたのを皮切りに、米国にて演奏活動を拡大。自身の四重奏団を率いてリンカーンセンターや MoMA近代美術館にて演奏するほか、ワシントン DCのケネディセンターにて野平一郎氏と共演。The Knightsのメンバーとして録音したギル・シャハムとの最新アルバムがグラミー賞2022にノミネート。『ファイナルファンタジー』など名作ゲームの録音も数々担当。古楽器ではゲヴァントハウスや東京オペラシティにてバッハ・コレギウム・ジャパンと共演。近年は東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団との共演や、『徹子の部屋』(テレビ朝日)『歌える! J-POP』(NHK-BS)等での演奏も話題に。これまでに、辰巳明子、川崎雅夫の各氏に師事、室内楽をロナルド・コープス、ジョセフ・リンの各氏に師事。現在、成蹊大学客員講師、国際教養大学特任准教授。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』など多数。



《司会》作曲家・ピアニスト 加羽沢 美濃

Mino Kabasawa

1997年、東京藝術大学大学院在学中に、日本コロムビアからCDデビュー。2022年にデビュー25周年を迎えた。現在までに20枚を超える CDをはじめ、多彩なジャンルの楽譜を出版。

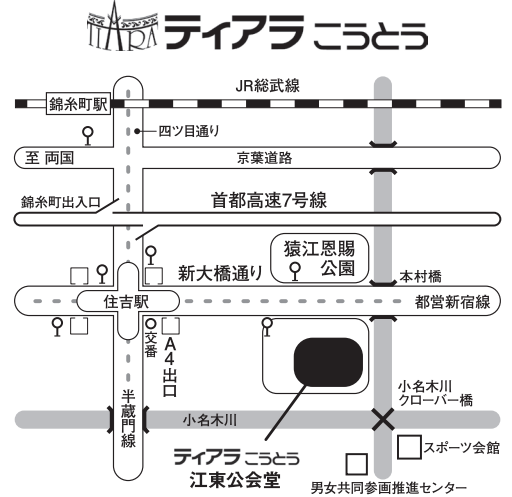
東京佼成ウインドオーケストラ、徳永二男氏(ヴァイオリニスト)、向山佳絵子氏(チェリスト)をはじめとするトッププレーヤーからの委嘱依頼に応え、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽などの作品を発表しているほか、器楽奏者や声楽家、ポップス演奏家のための作編曲も行っている。

また、テレビドラマ『愛と青春の宝塚』『松本清張没後20年特別企画ドラマスペシャル 波の塔』、映画『チルソクの夏』『四日間の奇蹟』『出口のない海』『獄に咲く花』『日輪の遺産』『指輪をはめたい』『ツレがうつになりまして。』『ライアの祈り』、舞台『黒部の太陽』などの音楽を手掛けるなど、幅広いジャンルの音楽を制作。活動の場は多岐にわたり、『題名のない音楽会』『名曲リサイタル』『らららクラシック』では司会を務めたほか、テレビやラジオ番組に数多く出演している。

近年では、作曲家の視点からクラシックをわかりやすく解説するレクチャーコンサートや、ジャンルの垣根を越えたコラボ企画公演などを全国各地で開催し、好評を博している。

2023年4~7月には、ヴァイオリニスト高嶋ちさ子とのユニット『Chisa & Mino』の結成25周年を記念し「25th Anniversary 高嶋ちさ子 & 加羽沢美濃 ~ゆかいな音楽会~」を開催。全25公演(延べ3万人動員)のツアーを完走した。同年9月には、台湾での新作発表を行うなど、作曲家としてもピアニストとしても活動の幅を広げている。

Official Web Site <http://www.minokabasawa.com/>



〒135-0002 東京都江東区住吉2-28-36
TEL 03-3635-5500 FAX 03-3635-5547

- 東京メトロ半蔵門線、都営新宿線「住吉」駅 A4出口から 徒歩4分
- 都バス(東22)錦糸町~東陽町(東京駅丸の内北口)「住吉駅前」下車 徒歩5分(錦11)錦糸町~築地駅「住吉駅前」下車 徒歩5分(錦28)錦糸町~東大島駅「江東公会堂前」下車 徒歩1分

※駐車場は収容台数に限りがありますので、他の交通機関をご利用いただくようお願い致します。